

北海道浮魚ニュース

平成 12 (2000) 年度 5 号 (通巻 No.75)

2000 年 7 月 12 日

北海道立中央水産試験場	Tel.0135-23-8707 Fax.0135-23-8709
釧路水産試験場	Tel.0154-23-6221 Fax.0154-23-6225
函館水産試験場	Tel.0138-57-5998 Fax.0138-57-5991
稚内水産試験場	Tel.0162-32-7177 Fax.0162-32-7171
網走水産試験場	Tel.0152-43-4591 Fax.0152-43-4593

道東太平洋スルメイカ北上期調査結果

北辰丸 (釧路水産試験場調査船) により行われたスルメイカ調査結果をお知らせします。

調査期間 :2000 年 7 月 3 日 ~ 6 日

調査海域 :道東太平洋 [北緯 41 度 40 分、東経 144 度 ~ 146 度]

東経 145 度 ~ 146 度にスルメイカ分布。
スルメイカの外套長は、18 ~ 19cm が主体。

調査海域の表面水温は 15.6 ~ 17.6 、50m 深の水温は 1.4 ~ 5.5 でした (図 1)。東経 145 ~ 146 度の表面水温は、昨年より 3 ~ 4 程高くなっていました。

3 調査点における調査の結果、CPUE* は St.3 が 7.92、St.2 が 3.97、St.1 が 0 でした (図 1)。6 月の調査 (北緯 41 度・東経 146 度で CPUE 9.19) に続き、スルメイカの分布を確認しました。6 月、7 月共に東経 146 度で CPUE が高くなりました。

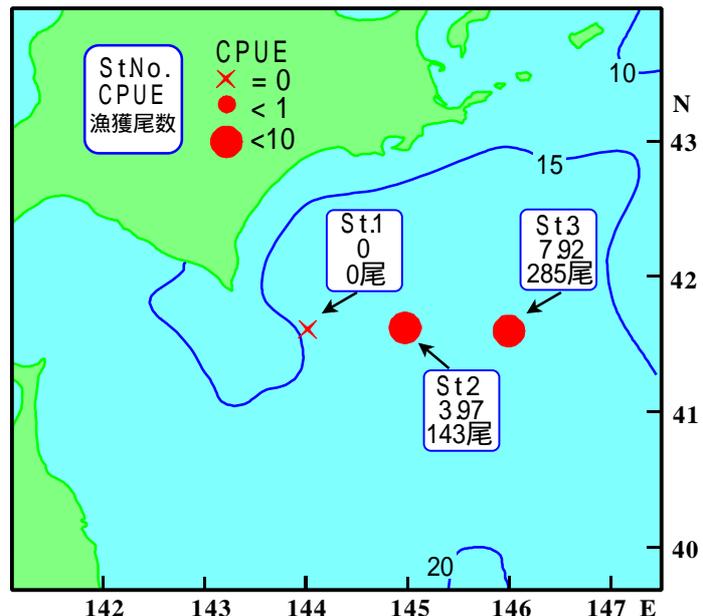


図 1 スルメイカ漁獲結果と表面水温

水温資料: (社) 漁業情報サービスセンター

その他のイカ類として、ツメイカを 23 尾漁獲しました。St.1 と St.2 でカタクチイワシの群れを多く目視しました。St.3 でサンマを数十尾目視しました。

*CPUE :自動イカ釣り機 1 台で 1 時間に漁獲するイカの尾数。この数字が大きいかイカが多く分布している (北辰丸の調査では、自動イカ釣り機 6 台で 6 時間操業)。

漁獲したスルメイカの外套長 * 範囲は、St.2 で 14 ~ 21cm (モード* 18cm)
St.3 では 14 ~ 21cm (モード19cm)でした (図 2)。

- * 外套長 :イカの胴体部の長さ
- * モード最も多く漁獲されたイカの外套長

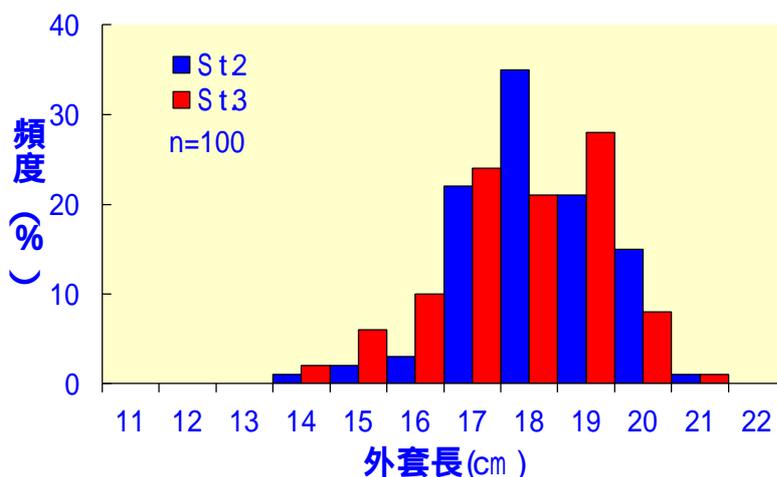
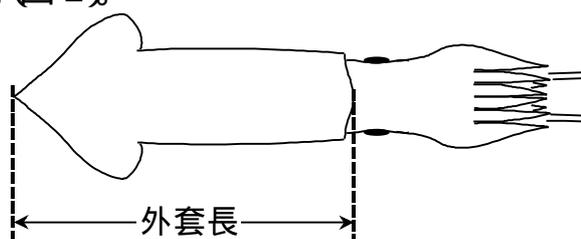


図 2 外套長組成図

表 1 道東太平洋スルメイカ北上期調査結果 (1993 ~ 2000 年)

調査日程	漁獲尾数	平均 CPUE	外套長 範囲 (cm)	外套長 モード (cm)	調査点数
1993 年 6 月 14 日 ~ 30 日	259	0.43	13-18	17	11
1994 年 6 月 13 日 ~ 23 日	1,584	5.14	11-25	19	10
1995 年 6 月 14 日 ~ 23 日	23	0.06	14-19	17	8
1996 年 6 月 12 日 ~ 21 日	3,741	9.91	13-21	18	9
1997 年 6 月 11 日 ~ 18 日	55	0.17	13-17	15	7
1998 年 6 月 09 日 ~ 18 日	69	0.18	10-17	13	8
1999 年 6 月 10 日 ~ 17 日	243	0.75	11-23	17	7
2000 年 6 月 12 日 ~ 15 日	333	3.47	13-19	16	3
7 月 03 日 ~ 06 日	428	3.96	14-21	18	3

北辰丸による調査の結果、前年より平均 CPUE が高くなりました。また北海道区水産研究所が中心となって行った、太平洋海域における漁場一斉調査 (6 月 ~ 7 月上旬 , 北辰丸の調査結果も含む) の結果も、前年 (平均 CPUE : 0.40) より今年 (平均 CPUE : 1.98) の方が高くなりました。

漁場一斉調査の結果などから、7 月 26 日に平成 12 年度第 1 回太平洋イカ長期漁海況予報が発表されます。

(文責 釧路水産試験場資源管理部
直通電話 0154-23-6222)